

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のため必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

- (1) 湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- (2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

付属部品明細

| | 名称 | 数量 |
|---|------------------|----|
| 1 | 壁固定木ねじ (φ4.5×50) | 2本 |
| 2 | 化粧キャップ | 2個 |
| 3 | 保証書 | 1冊 |
| 4 | 取扱説明書 | 1冊 |
| 5 | ストッパー | 1個 |
| 6 | フック (寒冷地のみ) | 2個 |

使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)
最高圧力……………0.75 MPa {7.6 kgf/cm²}

器具入口部における最低必要水圧(MPa {kgf/cm²})

| 給湯機タイプと号数 | | 最低必要水圧 | |
|-------------|---------------------------------|---------------|------------|
| 能力手動切替タイプ | 12号 | A + 0.2 {2.0} | |
| 比例制御タイプ | TOTO カスタム制御方式 | 10号 | 0.11 {1.1} |
| | | 16号 | |
| | | 20号 | |
| | TOTO トリコン制御方式 (トリコン・コンタクト・アクティ) | 16号 | 0.08 {0.8} |
| | | 20号 | |
| | | 24号 | |
| | | アクティ | |
| | TOTO ハイトリコン制御方式 | 21号 | 0.06 {0.6} |
| | | 24号 | |
| | | 24号 | |
| TOTO コマンド | 16号 | 0.08 {0.8} | |
| | 24号 | 0.07 {0.7} | |
| TOTO ハイコマンド | 21号 | 0.06 {0.6} | |
| | 24号 | | |

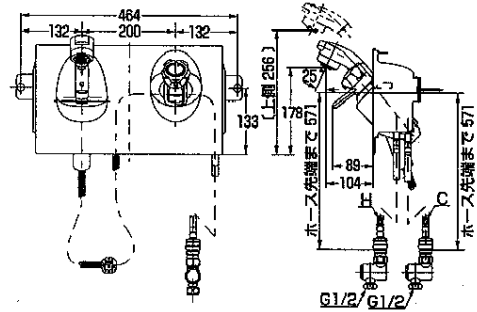
注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

〈設定条件〉

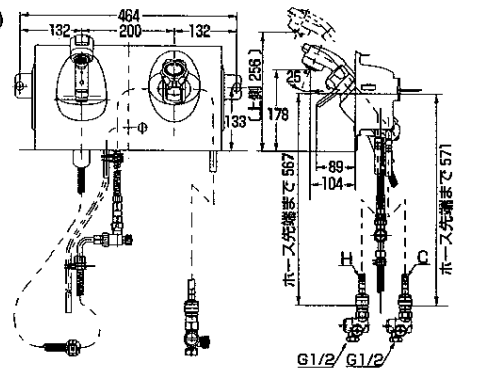
- ・開閉ハンドルは全開
- ・吐水はソフト吐水
- ・吐水温度：38℃
- ・給湯配管長さ：5m
- ・給湯機が着火する下限の圧力とする。
- ・水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定。
- ・能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- ・比例制御タイプの出湯温度：60℃

完成図

(一般地用)



(寒冷地用)



※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

(2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa {0.5kgf/cm²}
最高圧力……………0.75MPa {7.6kgf/cm²}

(3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

※給水圧力が0.6MPa {6.1kgf/cm²}を超える場合は、市販の減圧弁0.2MPa {2kgf/cm²}程度に減圧してください。ただし給湯圧力は、給水圧力より高くならないよう設定してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10°以上高くしてください。

3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないでください。

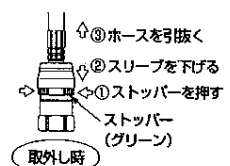
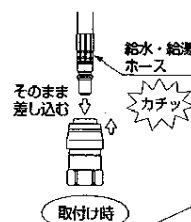
給水ホースには◎ラベルを、給湯ホースには④ラベルを貼り付けています。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

5. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

取付け前

より簡単に施工していただくために、本商品は、ホース接続ワンタッチカブラーおよびワンタッチソケットを採用しています。

ワンタッチソケット



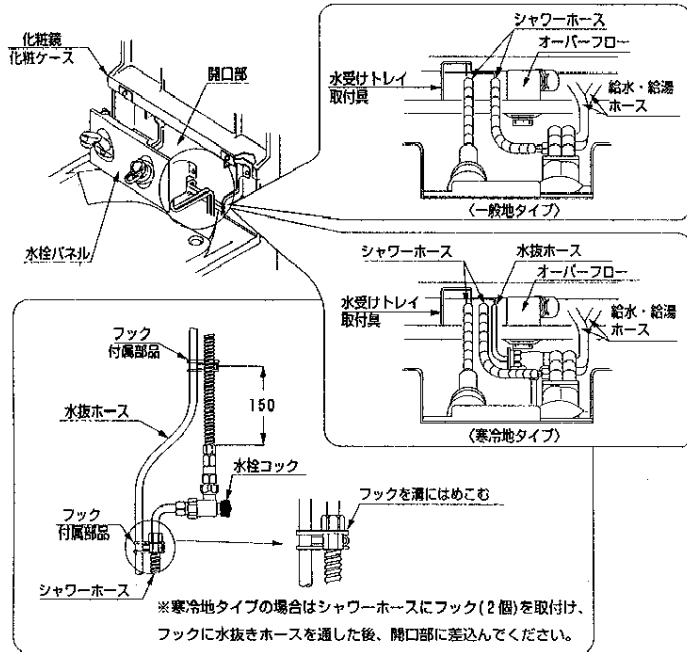
器具の取付け

1. 給水管内の清掃

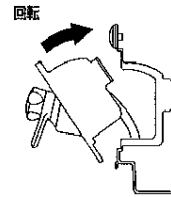
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などは完全に洗い流してください。

2. 水栓パネルの取付け

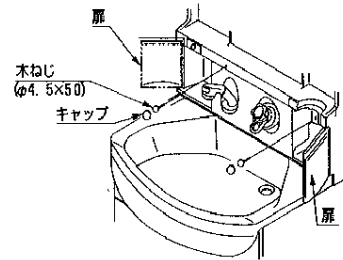
(1) 水栓の給水・給湯ホース及びシャワーホースを化粧鏡又は化粧ケースの開口部に差込んでください。



(2) 水栓パネルを回転させるようにセットしてください。

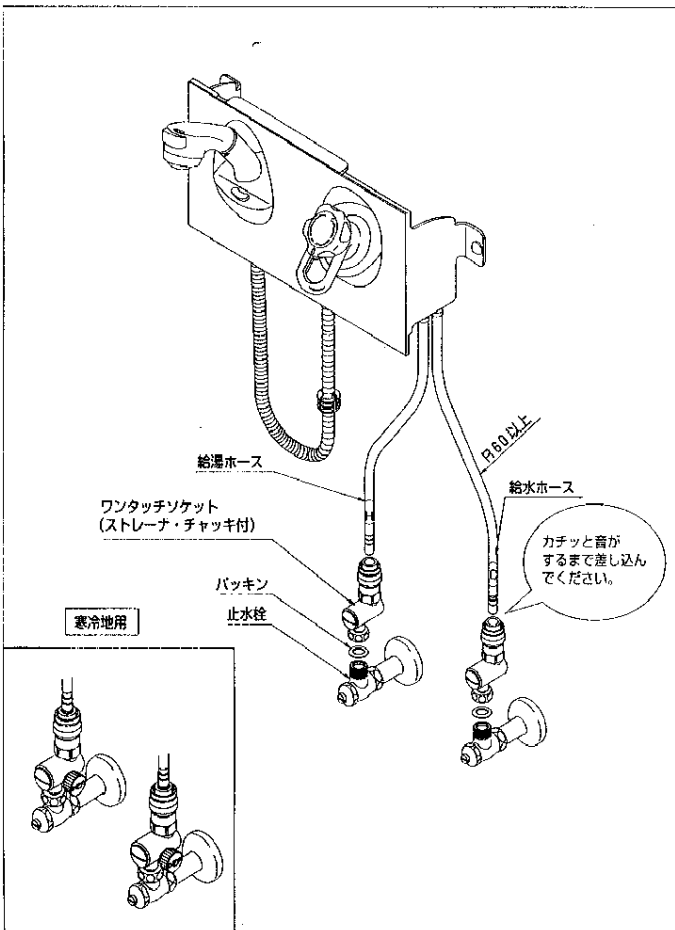


(3) 付属の木ねじ(2本)で確実に固定して、化粧キャップ(2個)をはめ込んでください。その際、電源コードを傷つけないように注意してください。



3. 給水・給湯ホースの接続

(1) 同梱のワンタッチソケット(ストレーナ・チャッキ付)を止水栓に取付けてください。
※このときパッキンを忘れないでください。



(2) ワンタッチソケットの接続

給水・給湯ホースをカチッと音がするまで差し込んでください。

※給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は確実に固定してください。

4. 給水・給湯ホースの施工上の注意点

ホースは最小曲げ半径(60mm)より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないようにご注意ください。

又、金具本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。

取付後の調節

1. ストレーナの掃除

ストレーナが詰まると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりする等十分な機能が発揮されなくなります。器具取付け後は「取扱説明書」の手入れのしかたをご参照になり、必ずストレーナを掃除してください。

又、お客様にも時々掃除をしていただくようご指導ください。

2. 温度確認及び調節

工場での温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況等によって、目盛りどおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は、「取扱説明書」の温度調節のしかたをご参照になり、温度調節を行ってください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快速にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかい布でふいてください。
- スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。又支柱部に油、オイルなどは絶対につけないでください。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合には、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

寒冷地水抜き方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれがある時期に施工された場合には水抜き栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。又、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

水抜き方法

① シャワーホースを切欠き部からの矢印の方向へ引っばってはずしてください。

② 水受けトレイをビスより一度上げて手前にはずしてください。

③ ハンドシャワーをストップするまで引出してください。

④ 開閉ハンドルを全開にしてください。

⑤ 温度調節ハンドルを「H」側いっぱいに戻し、シャワーヘッドから水が出なくなってから更にハンドルを「C」側いっぱいに戻す。

⑥ 全ての水抜きコックを開けます。

キャップを外し、穴の奥の水抜きコックをマイナスドライバー等で、開閉してください。

※水抜きコックを開ける時は受け皿等で受けてください。
※水抜き後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。
※水抜き後は必ず元のようにセットしてください。

分解と点検

取付け後、万一故障した場合は次の要領で分解及び点検を行ってください。

ご注意 ギヤユニット、バルブユニットは絶対に分解しないでください。

| 現象 | 点検項目 |
|--------------|-----------|
| 流量が少ない | 1 2 3 |
| 水が止まらない | 4 |
| 高温しか出ない | 1 2 4 5 6 |
| 低温しか出ない | 1 2 4 5 6 |
| 目盛どおりのお湯が出ない | 1 2 4 5 6 |

5. 湯温調節はよいか

6. 水側・湯側シート部にこみずまりはないか

4. シートにこみかみはないか

3. こみづまりはないか

2. こみづまりはないか

1. 止水栓は全開されているか

※バルブユニット、切替ユニットが外れない場合は溝部にドライバー等を差し込んで外してください。